

「はじめてのおはなし会～初心者のおはなし会講座」

大阪府立中央図書館読書支援課

2013. 12. 13 作成

1 ミニおはなし会 …こどもになって体験をお楽しみください♪

2 おはなし会のヒント：実務編

○導入

まずはあいさつ

いろいろな導入（工作、実験、折り紙、手遊びなど）

おはなし会の世界へひきつけよう

○絵本の前後で使える遊び

★季節感を大切に…春に使える展開例

絵本『おはながさいた』→♪おはながわらった

絵本『いちにのさんぽ』『つくし』→♪つくしんぼ、♪ずくぼんじょ

絵本『こうま』→♪うまはとしとし

絵本『てんてんてん』『まるまるころころ』『はらぺこあおむし』→♪キャベツの中から

絵本『たまごのあかちゃん』『にわたりのたまご』→♪ころころたまご、♪たまごでおりょうり、♪たまご、♪にぎりぱっちり

絵本『いろいろおせわになりました』→♪おちゃをのみにきてください

絵本『ティッチ』『おおきなかぶ』→♪ちいさなはたけ(庭)をたがやして

★季節感を大切に…夏に使える展開例

絵本『おじさんのかさ』→♪ぽつつんぽつつ

絵本『あかちゃんかたつむりのおうち』『せかいいちおおきなおうち』→♪かたつむり、♪めんめんたまぐら

絵本『おたまじゃくしの101ちゃん』『どれがぼくのおうちになるのかな』『とべカエルとべ』→♪いっぴきのかえる、♪かえるのよまわり、♪きやあろのめだまに

絵本『ありとすいか』→♪すいかのめいさんち

絵本『トマトさん』→♪キャベツがキャッキャッキャツツ

絵本『くだものなんだ』→♪もも・すいか・りんご・パイナップル

絵本『いわしくん』→♪さかながはねて

★季節感を大切に…秋に使える展開例

絵本『おなかのすいたばったのト』『とべバッタ』→♪キーリスチョン、♪とんぼやとんぼ

絵本『やさい』『カボチャありがとう』→♪お寺のおしょうさん、♪おらうちの

絵本『やさい』『どんどこどん』『ねずみのいもほり』『さつまのおいも』→♪やきいもグーチーパー

絵本『おつきさまこんばんは』『おつきさまってどんなあじ』『月へミルクをとりにいったねこ』

→♪お月さまえらいの、♪うさぎうさぎ

絵本『まんまるおつきさん』→♪ぶーぶーぶ

絵本『どんぐりどんぐり』『どんぐりとんぽろりん』『どうぞのいす』『どんぐりもりのおきやくさん』
→♪大きなくりの木のしたで、♪どんぐりころちゃん

★季節感を大切に…冬に使えるような展開例

絵本『おなべぐつぐつ』『あぶくたったにえたった』『かえるをのんだととさん』→♪あずきっちょ まめちよ、♪ちっちゃいまめころころ、♪なべなべ

絵本『かぜびゅんびゅん』『かぜフーホッホ』→♪うえからしたから

絵本『ごろんごゆきだるま』『ゆきのひ』『ゆき』『しろいゆきあかるいゆき』→♪ゆきは一升

絵本『おおさむこさむ』→♪おおさむこさむ

絵本『てぶくろ』→♪いちにのさん

絵本『14ひきのもちつき』『もちづきくん』『おもちのきもち』『てんぱたんてんぱたん：ねずみのもちつき』→♪もちっこやいて、♪オモヤノモチツキ

絵本『もりのおふろ』『やまのおふろやさん』『わにわにのおふろ』『おふろだいすき』→♪どんぶかっか、♪さあさおふろにはいろかな？

絵本『まゆとおに』『しまひきおに』『いっすんぼうし』『ゼラルダと人喰い鬼』→♪鬼のパンツ

絵本『エイモスさんがかぜをひくと』『ハクションあれッ??』『ぼくびょうきじゃないよ』→♪ごんべさんのあかちゃん

絵本『ちょろりんのすてきなセーター』『ハリ—のセーター』→♪いとまき

★こどもの生活（好きなもの）をとりあげよう…動物系の展開例

絵本『なんだろね？なんだろね』『ねんねんねこねこ』→♪ウチノウラノ、♪1丁目のどらねこ

絵本『おっばいっばいのんだこは』→♪げんこつやまのためきさん

絵本『ねえあそぼうよ』→♪ぶーぶーぶー

絵本『ちびゴリラのちびちび』→♪くいしんぼゴリラのうた

絵本『くまさんくまさんなにみてる』『おでかけくまさん』→♪くまさんくまさん

★こどもの生活（好きなもの）をとりあげよう…食べもの系の展開例

絵本『サラダだいすき』→♪キャベツはキャツ

絵本『おやさいトントン』『ひみつのカレーライス』→♪カレーライスのうた

絵本『くだもの』『いちご』『くだものなんだ』→♪ハナチャン、♪ミックスジュース

絵本『おくちはどーこ』→♪あがりめさがりめ

絵本『おにぎり』『きょうのおべんとうなんだらう』『おべんとう』→♪おべんとうばこ

絵本『サンドイッチサンドイッチ』『まるくておいしいよ』→♪パンやさんにおかいもの

* 乗り物系、家族系、生活系なども考えてみましょう！

○遊びの展開パターンを考えてみよう（0～2歳児対象の場合）

例えば、顔遊び：♪メンメンスースー→手遊び：♪オチヨズ→ひざのせ遊び：♪うまはとしとし→動く遊び：♪もどろうもどろう→手遊び：♪さよならあんころもち という感じで、「顔→手→足」、「静→動→静」といった流れを意識できるとよい。

○わらべ歌・手遊び

・わらべうたや手遊びで会場の雰囲気なごやかにしたり、読み手に親近感を持ってもらい、良い信頼関係を築いてから絵本を読むと、おはなしに集中する。

・わらべ歌には、子どもの育ちを支えるすばらしい知恵がたくさん含まれている。→遊びができるようになることで、赤ちゃんの発育の手助けとなったり、発達程度もわかったりもする。

例：♪せんべせんべやけた、♪トウキョウト、♪たんぽぽ、♪ボウズ、♪オデコサンヨマイテ、♪えんやらもものき、♪おさらにだんご

○その他、バリエーションあれこれ

紙芝居、人形（人形劇）、ペープサート、パネルシアター、エプロンシアター、絵描き歌など

○ストーリーテリング・おはなし→詳細はレジュメ後半

○ブックトーク

テーマに沿った本の紹介：一つのテーマに従って数冊の本を一つのまとまりとして紹介すること
低学年まではおはなし会の方が良いが、4年生以上ならブックトークも効果的。

物語を中心に絵本や知識の本も混ぜ込んで

しっかりした物語も紹介できる

絵本は全文読んでも一部読みでも可。いかに本に興味を惹きつけるか。

○読書のアニメーション

・学校などでは有効。長期的に同一メンバーで行うとより効果的。

3 おはなし会のための本選び、プログラムの組み方と実演のヒント

★子ども達に物語の楽しさを知ってもらう

★子どもたちと読書を結ぶ手法としてのおはなし会

1) プログラムの組み立て

テーマやメインとなる本（はなし）を決め、引き立てあうもので組み立てる

バランス良いプログラムを目指す

<プログラムを考える際に>

・対象：乳児、幼児、小学校低学年、高学年、中学生以上

・時間：持ち時間はどれくらい与えられているか（15分～30分程度が主だが、時には長い場合も）
午前か、午後か

・場所：学校、図書館、慣れた空間か、初めての場所か

・季節：季節・行事に合わせたプログラムは共感しやすい

・参加者の男女比や年齢層、参加人数でも組み立て方は変わる

→当日の天候や参加人数等にあわせて、多少の変更が可能なように絵本などは複数用意しておく
と良い

・理解度やレベル、興味等も年齢が上がっていく毎に細分化

→低い方にあわせる。誰もが楽しめるように

- ・何人でおはなし会を実施するのか→分担を考える

<プログラム>

- ・メインとなる本（はなし）を決める→メインを中心に組み合わせを考える
→当日状況によって変更できるように枝葉の本は柔軟に、余分に選んでおく。メインの本は変更しない。
- ・全体の流れを考え、時間は余裕をもったプログラムに
- ・慣れないうちは絵本から
- ・慣れてきたら、多彩なプログラムにも挑戦

【例えば】プログラムの例

●乳幼児のおはなし会（9月、おはなしのへや、30分、0-2歳）

♪ととけっこう→絵本『りんご』→♪ハナチャン→絵本『まんまるおつきさん』→♪お月さまえらいの→
♪とうだほしゃ→絵本『はしれ！かもつたちのぎょうれつ』→ひざのせ遊び♪ゆすらんかすらん→絵本
『おべんとう』→♪おべんとうばこのうた→♪さよならあんころもち

●栽培（7月、おはなしのへや、20分、小1）

絵本『ひまわり』→絵本『トマトさん』→手遊び♪キャベツがキャッ→絵本『やさいのおなか』→絵本『が
たごとばんたん』

●おじいちゃん・おばあちゃん（9月、おはなしのへや、20分、小3）

ストーリーテリング「かにかに、こそこそ」→絵本『あらまっ!』→絵本『おじいちゃんのおじいちゃん
のおじいちゃんのおじいちゃん』

●ふしぎ（2月、おはなしのへや、30分、幼児～小学生）

絵本『まほうのコップ』（実演をまじえて）→絵本『てじな』→絵本『てぶくろ』→ストーリーテリング
「おいしいおかゆ」

●おはなし会（12月、おはなしのへや、30分、中1）

絵本『いろいろな日』→絵本『パンのかけらとちいさなあくま』→絵本『しばてん』

●ふゆやすみおたのしみかい（大会議室、60分、幼児～小学生）

腹話術「のんちゃん」→布シアター「どうぶつえん」→手袋人形「コケッコ」→絵本『しんせつなとも
だち』→テーブル人形劇「おおきなかぶ」→歌「ゆきやこんこん」→牛乳パックシアター「干支の話」→
お手玉遊び「おもちつき」→紙芝居「てぶくろ」→エプロンシアター「三びきのやぎのがらがらどん」→
大型絵本『しりとりのだいすきなおうさま』→パネルシアター「かさじぞう」

●出前おはなし会（2月、支援学校、40分）

手遊び♪ごんべさんの赤ちゃん→人形劇「ダイコンさんとトマトさん」→ペープサート「クイズ：なーん
だなんだ」→絵本『へんしんマジック』→インターバル：手品→大型絵本『ちびゴリラのちびちび』→手
話ソング「幸せなら手をたたこう」

●大阪のおはなし大会（3月、おはなしのへや、40分、幼児～小学生）

子守唄「天満の市」→ストーリーテリング「てんまのとらやん」→絵本『うしはどこでもモー』→絵本『おかん』→スライド「じごくのそうべえ」→絵本『あれこれたまご』

<つなぎ・展開>

途中で騒がしくなったり、飽きてきたり、落ち着かなくなったら気分転換に遊びの要素も入れてみる
手遊びやわらべ歌の効果：体を動かすと集中しなおせることもある。ゲーム的にすれば、高学年でも熱中できる。

話からつなげて、工作や実験へ。反対に実験からお話へ。

★記録について

いつ、どこで、どんなプログラムを、何人で、誰に対して、どれくらいの時間で行ったか
こどもの反応はどうだったか などを記録しておく

2) 絵本

<本選び>

- ・1対1の時より内容が少しやさしい本（集団では個人差があるので）
- ・うしろの子まで見える絵の本
- ・季節や行事にあった本
- ・自分の心から好きな本（自分の趣味をおしつけるのではなく）
- ・自分にあった絵本（声、性格、柄など）
- ・子どもの興味・関心を大切に、どんな本を読んできたか
- ・文章と絵のバランスがあっているか
- ・実際の選び方…声に出して読んでみる、黙読する、メモをとる、子どもと一緒に読んでみる、他の人の意見を参考にする（読みあってみる）、記録をつける（その本を読んで楽しんだか、どんな点で楽しんだかなど）、書評やブックリストやインターネット等を参考にする
- ・対象年齢や人数、場所なども考える
- ・方言・標準語
- ・新しい絵本の情報
 - 『この本読んで！：絵本と読み聞かせの情報誌』（季刊） 雑誌『月刊MOE』（白泉社）
 - 『新しい絵本1000：テーマ別ガイド 2001-2009年版』 『同 Part2 2008-2012年版』
- ・プログラム例が載っている資料
 - 『おはなし会プログラム』…季節別・年齢別 『おはなし会ガイドブック』…低学年・中高学年別
- ・高学年以上向けのブックリスト
 - 『読みきかせのためのブックリスト：高学年版』…テーマ別
 - 『読みきかせ絵本260：高学年向(2003-2009)』…テーマ別
 - 『学校図書館発 絵本ガイドブック』…授業への展開例あり
- ・紙芝居

<読み方>

●事前準備

- ・読む前には本の見せ方…表紙から裏表紙まで続いている絵本かどうかの確認
- ・絵本のページが平らになるように、開きぐせ、めくりぐせをつける
- ・内容をしっかり読みこむ
- ・キーとなる言葉の表現
- ・クライマックスは念入りに

●読む

- ・持ち方…本を安定させる「ぐらつかないよう、しっかりもつ」（お互いにチェックしてみる）
…画面が水平になるように綴じの部分をしっかり持つ
- ・見せ方…聞き手の目線より、少し上に絵本が見えるくらいの高さが最適
…イスに座る、立って読む
- ・めくり方…次のめくりの準備を指先で
…ページをめくる手が絵の邪魔をしないように
…間を取ったり、早くめくったり、タイミングが大事
- ・読み方…よくとおる声で
…ゆっくり、はっきり、心を込めて自然体で
…自分の声の大小、強弱、高低、長短、声の調子、間等を変化させる
…リズム（擬音語、擬態語、繰返しのことば）を大切に
- ・絵をじっくりと見せ、こども自身に発見させる
- ・本に書かれたことばを大切に →アレンジしない
- ・タイトル、作者名（画家名）もきっちりと伝えるのが基本
- ・こどもの反応をキャッチしながら読む
- ・余韻を大切に（感想を求めない）

3) おはなし（ストーリーテリング）

- ★語り手がおはなしの楽しさを知る
- ★おはなしが好きであること、その人らしく語るのが一番
- ★たくさん読んで、たくさん聞いて、たくさん語る

<選ぶときに>

- ・自分が語ってみたいと思うおはなし
- ・自分にあったおはなし（声、性格、方言など）
- ・ジャンル…創作・昔話・日本・外国
- ・季節や行事、テーマにあったおはなし
- ・対象年齢や人数、場所なども考える
- ・リストを活用する
『お話のリスト』…索引付 『おはなし会ガイドブック』…おはなしと絵本の組み合わせ例
- ・おはなし集から探す

『おはなしのろうそく』 『子どもに語る〇〇の昔話』 シリーズ『子どもに聞かせる世界の民話』 など

- ・ テキスト…自分に適したテキストを選ぶ
- ・ 昔話…語り伝えられてきたものなので、語ることに適している
- ・ 類話…似たような話でも細部が違っていると印象が変わる。再話者、翻訳者によって言葉の選び方も違う。
 どれが自分にあっているのか、複数のテキストを見比べて選ぶ
- ・ うまく語るより何を語るか

< 語るときに >

- ・ きちんと準備をする
- ・ 本に書かれたことばを大切に
 - 1字1句間違っはいけない、わけではない。語りにくい場合は語りやすいように変える
- ・ おはなしに出てくる歌
 - おはなしのイメージにあうメロディを自分で考える
 - 『おはなし会ガイドブック』など楽譜を掲載した資料もある
- ・ くつろいで語る
 - 『ストーリーテリング：その心と技』に準備体操が掲載されている
- ・ 伝えたいという気持ちをこめて語る
- ・ 物語の持ち味を活かし、情景が見えるように、イメージを持って語る
- ・ 声…全員に聞こえる実体のある声で
 - …声に関心を持ち、自分の声をコントロールする
 - …自分の声の大小、強弱、高低、長短、声の調子、間等を変化させる
- ・ 発音、リズム、テンポ
 - …はっきり、ゆっくり、心をこめて、自然体で
 - …“間”を効果的に使う
- ・ 動きと表情…おはなしとチグハグにならないように。大げさな身振り・手振りは不要
- ・ 視線の動き…聞き手の顔をゆっくり順番に見る
- ・ こどもの反応をキャッチしながら一緒におはなしの世界を楽しむ
- ・ 語り終わった後は余韻を大切にする
- ・ 最後には必ず語ったおはなしが載っている本を紹介する
- ・ 人に聞いてもらう、人のおはなしを聞くことも重要

4 図書館の活用

- ・ 展示スペースをのぞいてみる
 - 季節や、時事ネタなどに応じた資料の展示をしている図書館は多い
 - 思わぬヒント、意外な1冊と出会う可能性もある
- ・ 各種ブックリストの利用…各図書館が作成している各種ブックリスト
- ・ 他の人のおはなし会に参加してみる
- ・ 司書に相談してみる
- ・ 相互貸借（他の図書館から資料を借りる）の活用

・ 図書館を使い分ける

- …市町村立図書館の蔵書の特徴：利用頻度が高い資料については、同じ本を複数冊所蔵している
- …府立図書館の蔵書の特徴：原則 1 タイトル 1 冊。幅広く収集している。この特徴活かす
- …国際児童文学館の蔵書の特徴：館内閲覧のみ。児童書を網羅的に収集している
- …府立ホームページで役立つページ：学校支援のページ、レファレンス事例データベース
- …蔵書検索：横断検索で府立や市町村、国会図書館の蔵書を一気に調べられる

5 ブックリストの紹介

◆はじめの一歩として

- 『おはなし会ガイドブック』茨木啓子/編・著 こぐま社 2003. 3
- 『お話会のプログラム：多様な手法で多様な楽しみを』佐藤涼子/著 編書房 2006. 12
- 『おはなし会プログラム』「この本読んで！」編集部/編 NPO 読書サポート 2008. 6
- 『読み聞かせわくわくハンドブック』代田知子/著 一声社 2001. 4
- 『子どもがよろこぶ！読み聞かせ絵本 101 冊ガイド』西本鶏介/著 講談社 2003. 10
- 『《読みきかせ》ボランティア入門』波木井やよい/編 国土社 2006. 7
- 『読みきかせのすすめ：子どもと本の出会いのために』波木井やよい/著 国土社 1994. 12
- 『かならず成功する読みきかせの本』赤木かん子/著 自由国民社 2008. 9
- 『絵本のあるくらし：プーさん文庫が選んだ 456 冊』プーさん文庫/編 吉備人出版 1999. 8
- 『子どもの本 100 問 100 答：司書、読書ボランティアにも役立つ』
一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団/編 創元社 2013. 8

◆支援学校での読み聞かせ

- 『障害児の読書教育』勝尾外美子/著 国土社 1989. 11
- 『特別支援学校での読み聞かせ：都立多摩図書館の実践から（都立図書館・学校支援シリーズ）』
東京都立多摩図書館/執筆 東京都立多摩図書館 2013. 4

◆おはなし（ストーリーテリング）

- 『お話のリスト』東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 1999. 7
- 『おはなしのろうそく』1～ 東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 1973. 4～
- 『お話とは（レクチャーブックス・お話入門 1）』松岡享子/著 東京子ども図書館 2009. 11
- 『よい語り（レクチャーブックス・お話入門 4）』松岡享子/著 東京子ども図書館 2008. 5
- 『お話の実際（レクチャーブックス・お話入門 5）』松岡享子/著 東京子ども図書館 2008. 7
- 『語る人の質問にこたえて（レクチャーブックス・お話入門 6）』松岡享子/著 東京子ども図書館 2011. 10
- 『選ぶこと（たのしいお話 3）』松岡享子/著 東京子ども図書館 1982. 3
- 『おぼえること（たのしいお話 4）』松岡享子/著 東京子ども図書館 1979. 1
- 『ストーリーテラーへの道』ルース・ソーヤー/[著] 日本図書館協会 1973. 9
- 『子どもたちをお話の世界へ ストーリーテリングのすすめ』E・コルウェル/著 こぐま社 1996. 1
- 『ストーリーテリング 現代におけるおはなし』間崎ルリ子/著 児童図書館研究会 1987. 10
- 『子どもにとどく語りを』藤井いづみ/著 小澤昔ばなし研究所 2008. 11

『ストーリーテリング：その心と技』 エリン・グリーン/著 こぐま社 2009.12

◆絵本選びの参考に

『100人の心に響いた絵本100：1998-2008（別冊太陽）』 平凡社 2009.12

『心をつなぐ読みきかせ絵本100（別冊太陽）』（[正]・続） 平凡社 2004.12、2007.10

『絵本の魅力：ビュイックからセンダックまで』 吉田新一/著 日本エディタースクール出版部 1984.3

『絵本の世界：作品案内と入門講座』 森久保仙太郎/編 偕成社 1988.6

『心に緑の種をまく：絵本のたのしみ』 渡辺茂男/著 新潮社 1997.11

『絵本をよむこと：「絵本学」入門』 香曾我部秀幸/編・著 翰林書房 2012.9

『ベーシック絵本入門』 生田美秋/編著 ミネルヴァ書房 2013.4

<年齢別>

『えほん：子どものための300冊』 日本子どもの本研究会絵本研究部/編 一声社 2004.7

『この本読んで！：絵本と読み聞かせの情報誌』 季刊 出版文化産業振興財団

『ねえこの本読んで！』 全7巻 赤木かん子/著リブリオ出版 2001

『読みきかせのための絵本カレンダー：0才～低学年』 改訂増補版 親子読書・地域文庫全国連絡会/編
親子読書・地域文庫全国連絡会 2004.3

『読みきかせのためのブックリスト：高学年版』 親子読書・地域文庫全国連絡会/編
親子読書・地域文庫全国連絡会 2003.7

『読みきかせ絵本260：高学年向(2003-2009)』 広瀬恒子[ほか]編 親子読書地域文庫全国連絡会 2009.10

『新・どの本よもうかな？』 1・2年生、3・4年生、5・6年生の3冊 日本子どもの本研究会/編 国土社
2011.7

『どの本よもうかな？：中学生版』 日本編、海外編の2冊 日本子どもの本研究会/編 金の星社 2003

『子どもといっしょに読みたい絵本ベスト100』 軽井沢絵本の森美術館/監修 メイツ出版 2010.4

『赤ちゃん絵本であそぼう！：0～3歳・季節のおはなし会プログラム』 金澤和子/編著 一声社 2009.6

『小学校での読み聞かせガイドブック』 湯沢朱実/編著 プランニング遊 2012.5

『子どもが夢中になる絵本の読み聞かせ方』 景山聖子/著 廣済堂出版 2013.4

<テーマ別>

『絵本の住所録：テーマ別絵本リスト（新版）』 舟橋齊/編著 法政出版 1998.3

『子どもの本のリスト：「こどもとしょかん」新刊あんない1990～2001セレクション』
東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 2004.11

『新しい絵本1000：テーマ別ガイド 2001-2009年版』 「この本読んで！」編集部/編集 読書サポート
2009.12

『新しい絵本1000：テーマ別ガイド Part2 2008-2012年版』 「この本読んで！」編集部/編集
読書サポート 2013.3

『絵本・子どもの本総解説 第7版』 赤木かん子/著 自由国民社 2009.6

『豊かな心をはぐくむこども0～7才絵本ガイド』 さわださちこ/絵本セレクト 主婦の友社 2010.7

『クレヨンハウス絵本 town 読者のおすすめ絵本ガイド』 絵本 town 編集部/編 クレヨンハウス 2007.2

- 『小児科医が見つけたえほんエホン絵本』「小児科医と絵本」の会/編著 医歯薬出版 2005. 12
 『学校図書館発絵本ガイドブック』三宅興子/[ほか]著 翰林書房 2004. 9
 『絵本の庭へ』東京子ども図書館/編 東京子ども図書館 2012. 3
 『かがくする心の絵本 100 (別冊太陽)』横山真佐子/[ほか]編 平凡社 2003. 1
 『子どもと楽しむ科学の絵本 850』子どもと科学をつなぐ会 2002. 4

◆昔話について

- 『昔話入門』小澤俊夫/著 ぎょうせい 1997. 10
 『昔ばなしとは何か』改訂 小澤俊夫/著 小澤昔ばなし研究所 2009. 4
 『昔話絵本を考える』新装版 松岡享子/著 日本エディタースクール出版部 2002. 11
 『昔話と昔話絵本の世界』藤本朝巳/著 日本エディタースクール出版部 2000. 9
 『子どもに伝えたい昔話と絵本』藤本朝巳/著 平凡社 2002. 6
 『日本昔話百選』改訂新版 稲田浩二/編著 三省堂 2003. 7
 『子どもに語る日本の昔話』1~3 稲田和子/著 こぐま社 1995~1996
 『子どもに語るグリムの昔話』1~6 グリム/[著] こぐま社 1990~1993
 『イギリスとアイルランドの昔話』石井桃子/編・訳 福音館書店 1981. 11
 『子どもに聞かせる世界の民話』矢崎源九郎/編 実業之日本社 1979

◆詩

- 『のはらうた』1~ くどうなおことのはらみんな/作 童話屋 1984~
 『ことばあそびうた』谷川俊太郎/詩 福音館書店 1973. 10
 『なぞなぞあそびうた』角野栄子/さく のら書店 1989. 6
 『季節の詩の絵本』1~5 あすなろ書房 2001. 3

◆おはなし会の参考に

<わらべうた・手遊び>

- 『子どもに人気のふれあいあそび-年齢別ベストテン』東京都公立保育園研究会/編著 ひとなる書房 2005. 6
 『にほんのわらべうた』1~4 近藤信子/著 福音館書店 2001. 4 *4巻に付録CD付
 『目あそび・手あそび・足あそび Part3 なにしてあそぶ?わらべうた』佐藤美代子/編著 草土文化 2005. 12
 『子どもと楽しむ手あそびわらべうた』梅谷美子/著 かもがわ出版 2010. 12
 『手あそび百科』植田光子/編著 ひかりのくに 2006. 3
 『園で人気の手あそびわらべうた』久津摩英子/監修 PHP 研究所 2009. 8
 『あそびうた大全集 200: 手あそび・体あそび・わらべうたがいっぱい』細田淳子/編著 永岡書店 2013. 3
 『おはようからおやすみまでの 12 のわらべうたえほん』小林衛己子/編 ハッピーオウル社 2006. 12

<工作・実験>

- 『しんぶんしであそんじゃおう!』いまいみさ/著 毎日新聞社 2011. 1
 『きむらゆういち・みやもとえつよしのガラクタ工作』1巻~13巻(2013. 2現在) きむらゆういち・みやもとえつよし/著 チャイルド本社

『たのしい!おもちゃづくり:つくってあそぼ!』泉州ひまわりネット 2009.6
『おもしろ科学実験室』小林卓二/著 さ・え・ら書房 1988.2
『たのしい科学実験 365日』E.リチャード・チャーチル/共著 飛鳥新社 2010.5
『ちょこっとできるびっくり!工作』1:わゴムのふしぎ工作、2:ストローのふしぎ工作、3:せんたくばさみのふしぎ工作、4:かいちゅうでんとうのふしぎ工作 立花愛子/著 偕成社 2013.3~4

<紙芝居・ペープサート・パネルシアターなど>

『紙芝居の演じ方 Q&A』まついのにこ/作・絵 童心社 2006.10
『おはなしおばさんの小道具(シ-ズつくってあそんで)』([正]・続)藤田浩子/編著 一声社 1996.6、1998.6
『パネルシアターはじめよう:実践講義』月下和恵/著 アイ企画 2006.3
『実習に役立つパネルシアターハンドブック』古宇田亮順/編 萌文書林 2009.6
『PriPri パネルシアター 動きがある!ダイナミックに演じられる!』関稚子/著 世界文化社 2012.9

<ブックトーク>

『だれでもできるブックトーク 「読みきかせ」から「ひとり読み」へ』村上淳子/編著 国土社 2008.3
『やってみよう・ブックトーク』親子読書地域文庫全国連絡会/編集 親子読書地域文庫全国連絡会 2007.7
『キラキラ応援ブックトーク 子どもに本をすすめる33のシナリオ』キラキラ読書クラブ/著 岩崎書店 2009.3
『いつでもブックトーク 構想から実施まで8つのポイント』北畑博子/著 連合出版 2001.9
『学校ブックトーク入門』高桑弥須子/著 教文館 2011.1
『学校司書と先生のためのすぐできるブックトーク』渡辺暢恵/著 ミネルヴァ書房 2012.3
『ひと目でわかるブックトーク:小・中・高校生向け実践例64本収録』「この本読んで!」編集部/編 読書サポート 2012.6
『鍛えよう!読むチカラ:学校図書館で育てる25の方法』桑田てるみ/監修 明治書院 2012.8
『その本、読みたい!:読みきかせ+ぷちブックトーク』低学年、高学年 村上淳子/編著 国土社 2013.3

<読書のアニメーション>

『読書へのアニメーション 75の作戦』M.M.サルト/著 宇野和美/訳 柏書房 2001.12
『読書のアニメーション 子どもと読書の世界を広げる』佐藤涼子/著 児童図書館研究会 2005.5
『みんなで楽しむ読書へのアニメーション』黒木秀子/著 学事出版 2010.2
『読書へのアニメーション入門』有元秀文/著 学研 2002.10
『はじめてのアニメーション』岩辺泰吏/著 柏書房 2003.5